

令和5年度 第3回 佐久間中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年10月5日（木） 14時30分から16時まで  
ただし、6校時は授業参観
- 2 開催場所 佐久間中学校 会議室（2階）
- 3 出席委員 高氏 秀佳、笹野 訓子、向坂 美保、奥山 和子、山本 巖、  
鈴木 千穂
- 4 欠席委員 平賀 むつみ、馬場 真弓、古尾 春子、北島 祐介
- 5 オブザーバー 坂口 ひろみ（民生委員・児童委員）  
鈴木 孝（佐久間協働センター地域振興グループ長）  
長谷川 陽子（佐久間図書館）
- 6 学 校 西田 亮（校長）、瀬戸 一志（教頭）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 教育委員会 堀田 洋一（指導主事）
- 9 会議録作成者 CSディレクター 海賀 志美
- 10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

熟議

- ・本校の生徒につけさせたい力

12 会議記録

司会の教頭から、委員総数10人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

熟議

議長の指示により、校長から本校の生徒につけさせたい力について説明があり、授業の様子を観て思ったこと等をふまえて2グループに分かれ、協議した。

各グループの協議の結果から、全体に以下のような課題が提示された。

○Aグループ（高氏、奥山、鈴木、長谷川、校長） 〈まとめを長谷川さんが発表〉

- ・子供達の様子からお互いの特質を認め合いながら学校生活を送っている様子が垣間見えた。
- ・苦手な部分をどうしようと試行錯誤している様子が見えたとき、子供達なりの答えを導くためのフォローを先生方がしている様子が見えたので継続して行ってほしい。
- ・地域での様子を見ると、主体的に地域に関わりを持って自分たちの役割を果たしている様子も見えて、とてもたくましいと感じた。

子供達が地域で役割を果たしたり、多様性をみとめたり、そういったものが子供達のなか

で自分たちが出来ているんだという実感を次のステップに繋げていってほしい。

○Bグループ（笹野、向坂、山本、坂口、鈴木、教頭） 〈まとめを教頭が発表〉

- ・佐中生の良さ、優しい人間関係に囲まれている中で、ここから出ていった時に優しい人達ばかりじゃない場面に出会った時にどう対処していくか、という力もつけられると良い。
- ・もう少し大きな視点で見たときに、全校20人全員のどこが出来ている、出来ていないではなく、せっき少人数であるので個々の弱い部分のハードルを越えられるように、教員がサポート出来れば良い。

浜松市教育委員会教育総務課から

- ・今後の学校運営協議会について堀田さんから、以下の発言があった。

委員の任期は3年で2期目（6年）までは可能、佐久間中の協議会は今年4年目なので2年後に委員全員が辞められることになる。

持続可能な取組にしていくためにはどういう方法が良いのか残りの2年でぜひ考えていってほしい。

その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和6年2月16日（金）午後14時から佐久間中学校会議室で開催する旨の報告があった。